

## 広島派遣を通して伝えたいこと

糸魚川東中学校 2年1組 猪俣 陽弘

僕は広島で、戦争についてたくさんのことを学びました。

平和記念資料館では、広島に原爆が投下された8月6日の恐ろしさを資料やビデオで見せていただきました。

大和ミュージアムでは、戦艦大和を10分の1のサイズで見ることができました。アメリカ軍の爆撃にあって、大和に乗っていたほとんどの人が命を落としたそうです。この戦艦大和以外にも、貴重な実物や資料を見ることができました。これらを見て、僕は、大和に乗って戦争に行った人たちの思いを、世の中の人たちに伝えていきたいと思いました。

僕が特に印象に残ったのは、被爆体験者の講話です。波田保子さんに戦争当時のことを話していただきました。ほとんどの人が、爆心地から2km圏内に入った所で被爆しました。波田保子さんのお父さんは、被爆者特有の原爆ぶらぶら病になり、普通の生活ができなくなったそうです。

戦争を知らない人は、被爆者の気持ちになって、戦争の恐ろしさを考えていかなければいけないと思いました。

戦争を体験された人たちが高齢となり、語る事、機会が減っている今、僕は貴重な経験をさせていただきました。だから、これからは、広島派遣で学んだことを多くの人たちに伝えていきたいと思います。

---